



2011年3月期
第1四半期決算ハイライト

株式会社 **ミクニ**

2010年8月6日 1

はじめに

会計基準の変更によるセグメント区分の変更

1. 会計基準の変更によりセグメント情報を変更いたしました。詳細につきましては、第1四半期決算短信に記載の「セグメント情報」をご覧ください。

2. 変更したセグメント区分の概要は、以下の通りであります。

【 変 更 前 】			【 変 更 後 】	
事 業 区 分	主 要 取 扱 品 等		事 業 区 分	主 要 取 扱 品 等
自動車関連品事業	四輪車用製品	}	自動車関連品事業	四輪車用製品
	二輪車・特機用製品			二輪車・特機用製品
	汎用エンジン用製品			汎用エンジン用製品
生活・環境関連品事業	ガス機器用制御機器類	→	制御機器関連品事業	ガス機器用制御機器類
	車両用暖房器類	}	航空機部品輸入販売事業	航空機部品類
	加湿器・介護機器類			芝管理機械類
輸入品販売等事業	航空機部品類	}	その他の事業	車両用暖房器類
	芝管理機械類			加湿器・介護機器類
	その他不動産管理等			その他不動産管理等

四半期 経営成績

損益計算書の概要 前期比較

単位：百万円

	2009年1Q	2010年1Q	増減	2010年2Q累計予想
売上高	13,735	19,556	5,821	40,000
売上原価	13,181	16,592	3,410	
売上総利益	553	2,964	2,410	
販売費及び一般管理費	2,028	2,160	131	
営業利益	△ 1,475	803	2,278	1,200
営業外収益	251	165	△ 86	
営業外費用	245	221	△ 24	
経常利益	△ 1,469	747	2,216	1,000
特別利益	27	7	△ 19	
特別損失	9	17	8	
税金等調整前四半期純利益	△ 1,451	737	2,189	
法人税等	396	234	△ 162	
少数株主利益	6	35	28	
四半期純利益	△ 1,855	467	2,322	650

※1. 2011年3月期 第2四半期累計期間の業績予想を修正しております。

2. 通期の業績予想について

下半期以降の経営環境につきましては、国内において自動車のエコカー購入補助金制度が9月末で期限切れとなるなど、消費マインドが低下する懸念があり、また欧米の景気の影響による為替や需要の動向の変化、さらには、これまで堅調に推移してきた中国景気の鈍化、労務費などの労働環境など、業績に影響を及ぼす不安定要素が多くあります。それらの要因については総合的に精査いたしますので、現時点では通期の業績予想は未定とさせていただきます、その結果につきましては、今後、需要動向などを見極めたうえで、決定次第、開示いたしたいと存じます。

(注) 1. 利益欄の△は損失を示します。

2. 各期の「Q」とは、四半期を示します。

3. (参考) 為替レート '09年1Q 93.76円/\$ '10年1Q 90.69円/\$

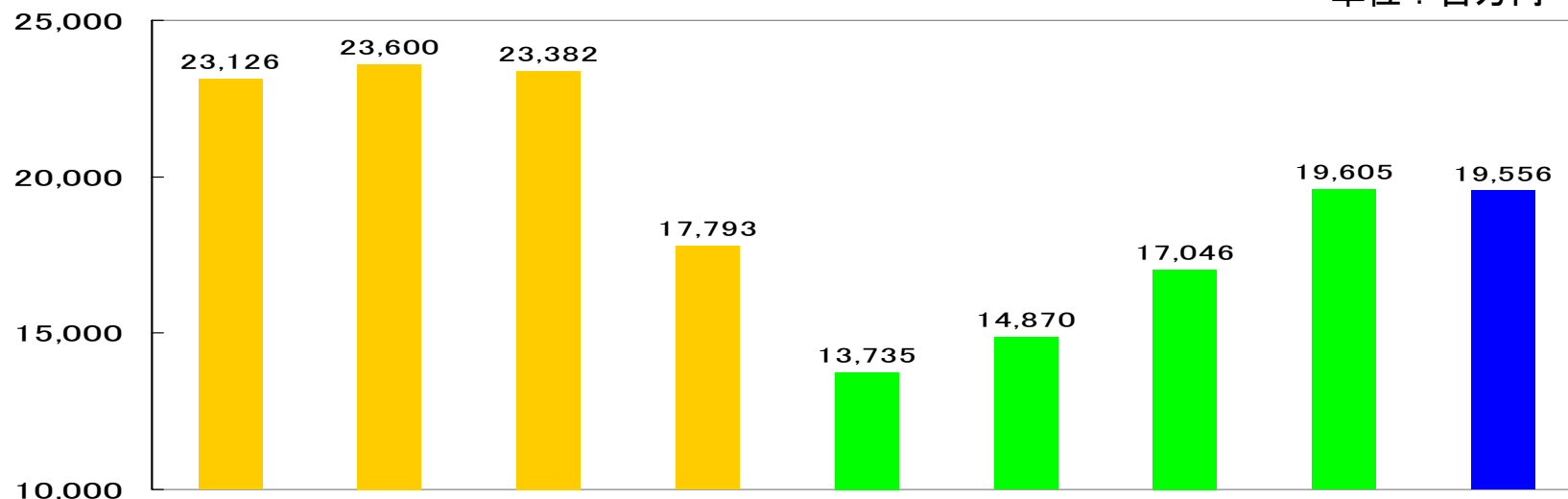


四半期
経営成績

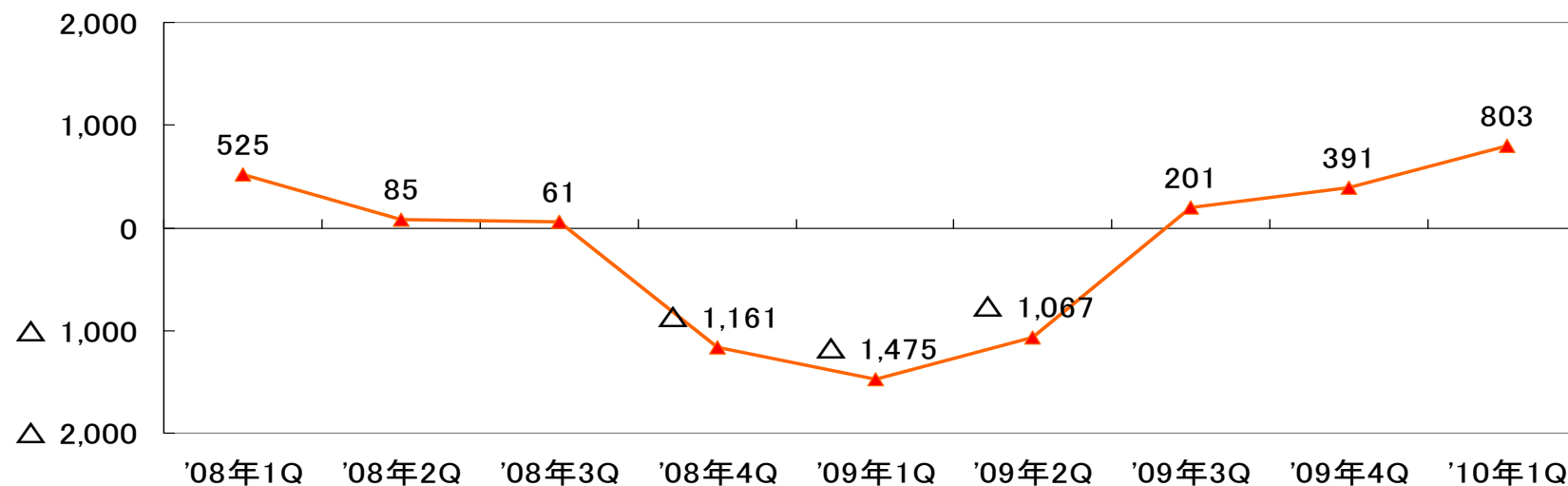
売上高・営業利益
'08年第1四半期～'10年第1四半期 四半期推移

単位：百万円

売上高



営業利益



四半期
経営成績

セグメント別 売上高・営業利益 前期比較

単位：百万円

	2009年1Q		2010年1Q		売上高の増減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	金額	比率
自動車関連品事業	8,371	△1,492	13,877	688	5,505	65.8%
制御機器関連品事業	997	△61	1,293	38	295	29.6%
航空機部品輸入販売事業	2,485	13	2,433	△12	△52	△2.1%
その他の事業	1,879	65	1,952	88	72	3.9%
合計	13,735	△1,475	19,556	803	5,821	42.4%

- (注) 1. 営業利益欄の△は営業損失を示します。
 2. 上記表は、前第1四半期連結会計期間の業績を、変更後のセグメントに組替えた場合であります。

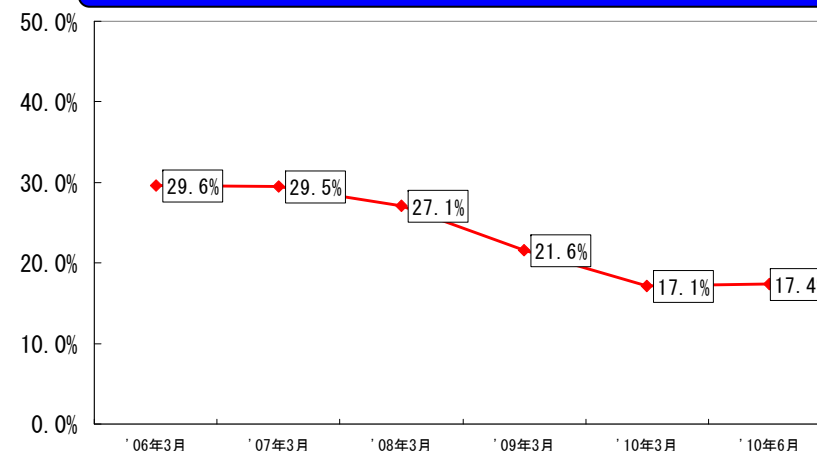
財政状態

貸借対照表の概要

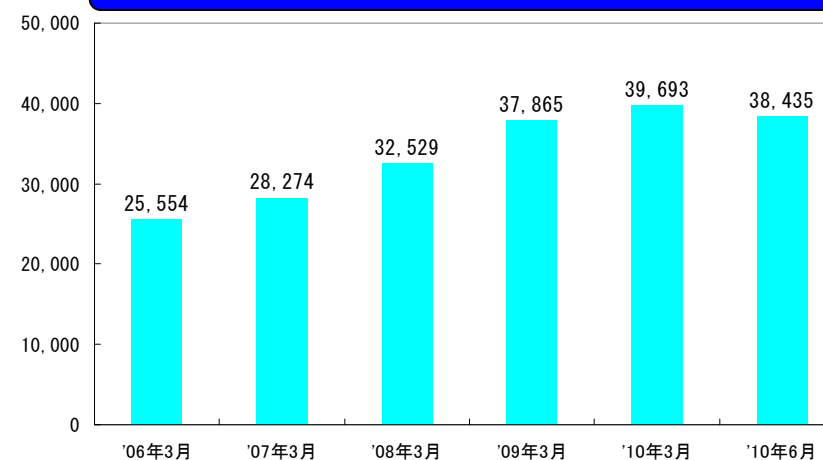
単位：百万円

	2010年6月末	2010年3月末	増減額
流動資産	35,421	34,385	1,035
固定資産	41,900	42,423	△ 523
資産合計	77,321	76,809	512
流動負債	40,295	39,655	640
固定負債	21,768	22,288	△ 520
純資産	15,258	14,865	392
負債及び純資産合計	77,321	76,809	512
自己資本比率	17.4%	17.1%	0.3%
1株当たり純資産	397.08円	387.34円	-

自己資本比率の推移



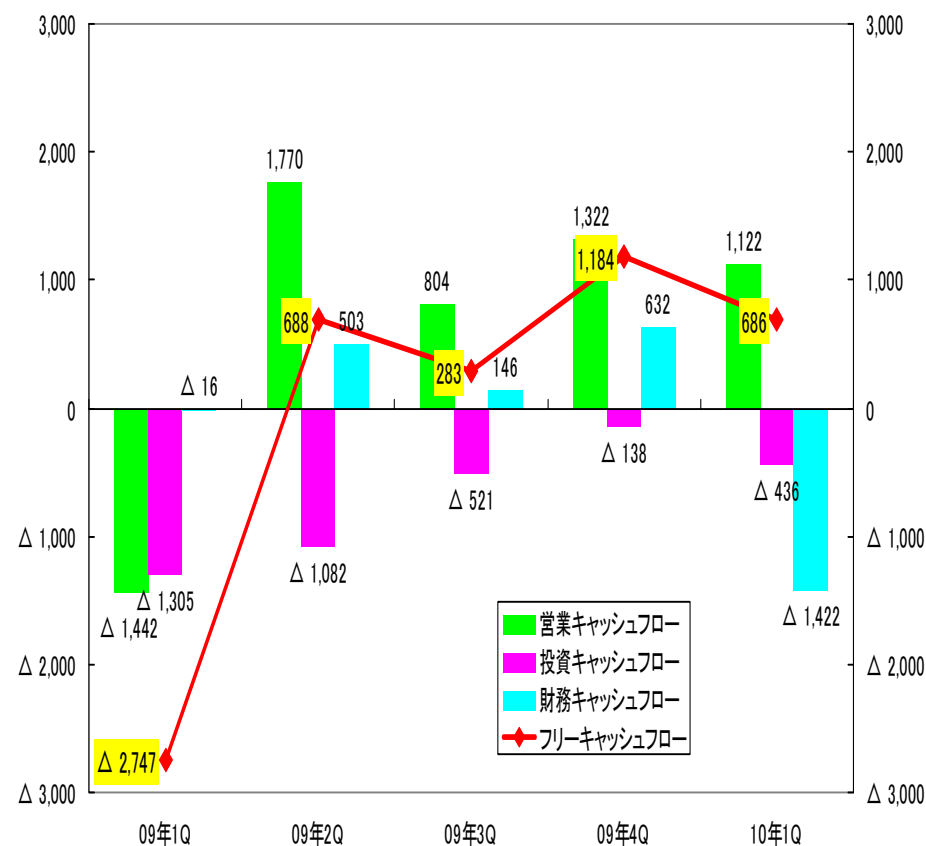
有利子負債の推移



単位：百万円

	2009年1Q	2010年1Q	増減額
営業C / F	△ 1,442	1,122	2,564
税引前利益	△ 1,451	737	2,189
減価償却費	963	906	△ 56
売上債権	1,351	△ 479	△ 1,830
たな卸資産	△ 225	△ 598	△ 373
仕入債務	△ 2,338	570	2,909
その他	258	△ 13	△ 272
投資C / F	△ 1,305	△ 436	869
設備投資	△ 998	△ 680	318
子会社増資	△ 600	△ 11	588
その他投資	292	255	△ 36
財務C / F	△ 16	△ 1,422	△ 1,406
借入金	205	△ 1,315	△ 1,520
配当金他	△ 221	△ 107	113

'09年第1四半期～'10年第1四半期 四半期推移

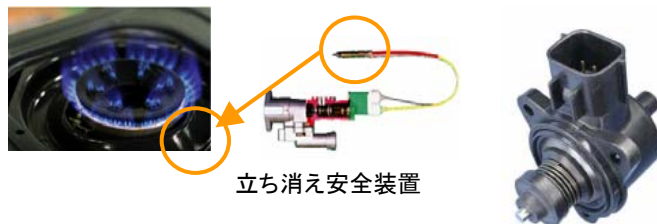


自動車関連品事業



燃料噴射システム ECU・センサ類
エンジン部品、周辺機器、キャブレタ他
二輪車・特機関連 四輪車関連

制御機器関連品事業



ガス機器用
制御機器類

各種流量
制御機器類

航空機部品輸入
販売事業



航空機用部品
輸入販売

その他事業



芝刈機等
輸入販売



車両用
ヒーター



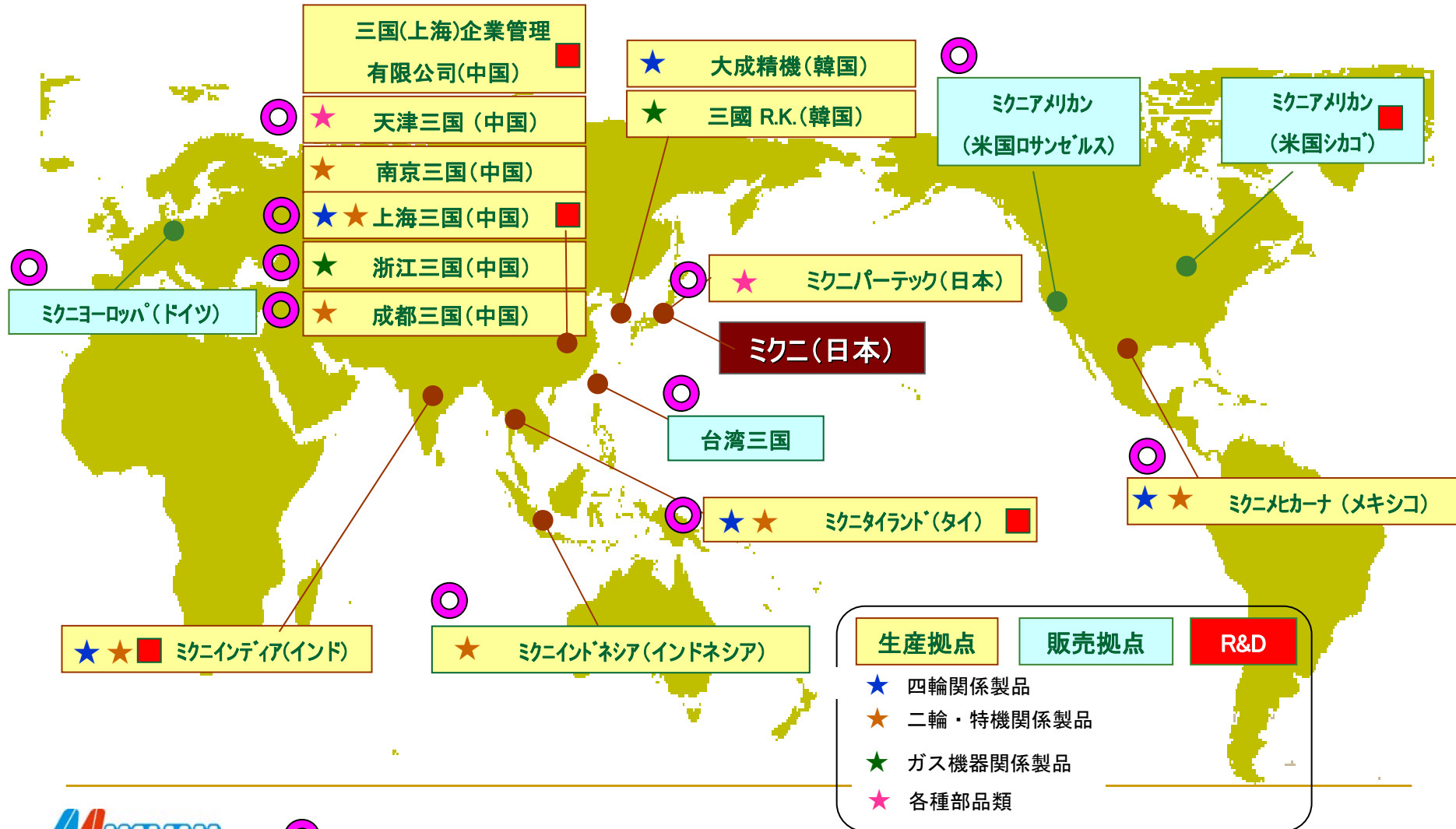
介護機器類



携帯用加湿器



業務用加湿器

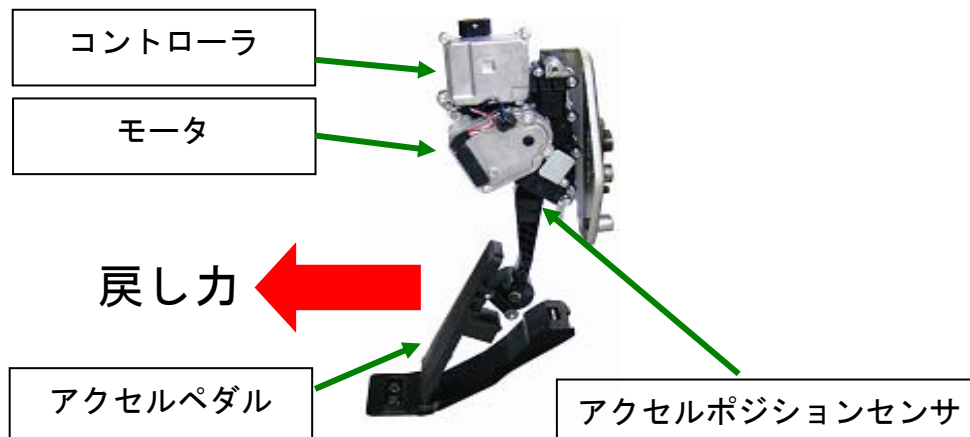


「Nissan Global Supplier Award」
イノベーション賞 受賞

当社は、2009年9月より日産自動車株式会社向けに「高機能アクティブペダル」を納入しておりますが、この度、当該製品の開発が「革新的な新製品の具現化に貢献した」評価で、日産自動車株式会社のイノベーション賞を受賞しました。当該製品は、日産自動車株式会社の「環境（ECO）」・「安全」への取組みに対するご要望に応えるべく、当社の要素技術であるモジュール技術「モータ技術」「制御技術」「センサ技術」などを組合せ、開発した製品であります。今後とも、品質を第一優先として、生産の効率化を目指すとともに、このようにお客様のご要望に応えた製品開発を展開し、グローバルな拡販活動を行ってまいりたいと存じます。



高機能アクティブペダル参考写真



製品の特長

走行時における先行車両との車間距離を維持し、運転者の操作を支援する（安全）為に、及び、発進・加速時に生じる過剰な燃料消費に対する運転者のエコ運転を支援する（ECO）為に、ペダルを戻す方向に力を発生（アクティブ）させることで、ペダルの反力を強める動作を行います。

安全と環境（ECO）の機能を持ったペダルとしては世界初のものとなります。



ご注意事項

1. 本資料は連結ベースで作成しております。
2. 本資料は既に発表した決算内容・業績予想等について纏め、投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。
3. 本資料に掲載されている業績予想等の将来に関する記述は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により、これらの業績予想とは異なる場合がありますことをご承知おきください。
4. 業績等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成しておりますが、正確性などについて保証するものではありません。

【お問い合わせ先】

URL <http://www.mikuni.co.jp>

〒101-0021 東京都千代田区外神田6-13-11

経営企画・管理本部 株式・IRグループ

電話 03-3833-0392

株式会社 